

研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

機械学習を用いた CT 画像からの大動脈解離自動検出システム開発の試み			
1．研究の対象および研究対象期間 2004年4月1日から2024年10月20日までに昭和大学横浜市北部病院で行われた大動脈解離精査でCTを撮影された患者さん。			
2．研究目的・方法 大動脈解離は急激な痛みを伴い、迅速な診断と治療が求められる疾患とされています。診断方法としては造影CTがゴールドスタンダードとされており、感度特異度ともに90%を超えています。夜間時など放射線科医が不在のときや、症状と疾患が異なり見逃しがあることもあります。また単純CTによっても解離診断は可能とされていますが、感度特異度ともに造影CTより低下すると報告されています。 そこで機械学習を用いて大動脈解離の有無を自動検出できるかどうか検討します。			
3．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで			
4．研究に用いる試料・情報の種類 2004年4月1日から2024年10月20日までに昭和大学横浜市北部病院で行われた造影CTの単純・造影(早期・遅延)3相および大動脈解離有無患者の年齢、性別、血圧、既往を用います。			
5．外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し符号化した個人情報として適切に取り扱います。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、横浜市立大学データサイエンス研究科で解析致します。			
6．研究組織			
研究代表者（責任者）	研究機関名	昭和大学横浜市北部病院	氏名 岡田 圭伍
共同研究機関			
研究責任者	研究機関名	横浜市立大学データサイエンス研究科	氏名 越仲 孝文

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院横浜市北部病院 放射線技術部

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

氏名：岡田 圭伍

電話番号：045-949-7477